

2017

JULY 7 vol.42

東京成徳広報



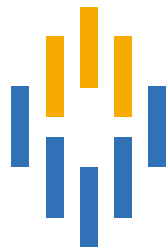
来春竣工予定の6号館完成イメージ図



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

- P **3** **巻頭言「変化の時代と教育改革」**
東京成徳学園 理事長 木内 秀樹
- P **4** **就任挨拶「学長に就任して」**
東京成徳大学 学長 新井 邦二郎
- P **5** **大学改革**
新校舎着工 福祉心理学科募集停止 臨床心理学科定員増
人文学部移転 地域創生研究所設置
- P **6** **SD 研修 全学教職員 SD 研修スタート**
企画・IR 室長 長谷部 孝司
- P **7** **学園の動き**
理事・評議員の異動 経営学部長・研究科長就任挨拶 学園人事
平成 29 年度事業計画 平成 28 年度事業の概要
- P **12** **活躍する卒業生「ひと」**
埼玉県総合リハビリテーションセンター 水野 直也
- P **13** **進路**
進学・就職
- P **16** **TOPICS**
大学院 子ども学部 経営学部 短期大学幼児教育科
応用心理学部 人文学部 中高一貫部 高等部
深谷中学校 深谷高校 幼稚園 学園後援会
- P **23** **クラブ活動**
- P **24** **入試情報・お問い合わせ先**



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク
イエローは「活力」と「勇気」を表し、
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、
同窓生を象徴しています。
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五
本の柱は五つの教育目標を象徴していま
す。
そして、八本の柱が一体となり、東京成
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ
ニティを作り上げる姿を表現しています。

表紙 東京キャンパスに来春竣工予定の 6 号館

教室・研究室・グローバルセンターなどの充実に期待が膨らむ。



「変化の時代と教育改革」

東京成徳学園理事長 木内 秀樹

一・政府の人材育成方針

本年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2017」が閣議決定された。その中では、日本経済の現状と課題として、(1)一億総活躍社会の実現、(2)働き方改革、(3)人材への投資による生産性の向上、などがテーマとなっている。資源の少ない我国にとって教育の重要性が再確認され、これに関するさまざまな提言がされている。

まず人材投資としては、「誰もが生きがいを持ってその能力を存分に発揮できる一億総活躍社会を実現するために、教育が果たすべき役割は極めて大きい」、「日本の義務教育制度・無償化は戦後の発展の大きな原動力となった。今後、多様な教育を全ての国民に真に開かれたものとしなければならない。その第一歩として幼児教育・保育の早期無償化や待機児童の解消に向け安定的な財源確保、高等教育を含め社会全体で人材投資を抜本強化するために改革を検討する」としている。そして教育の質の向上等については、

「世界トップレベルの学力達成と基礎学力の向上に向け、新学習指導要領の円滑な実施のための体制を整備するとともに、様々な制約を克服し、子どもが社会において自立できる力を育成する。教育へのアクセス向上のため幼児教育について段階的無償化を進めるとともに、高等教育について進学を確実に後押しする観点から、給付型奨学金制度など必要な負担軽減策を進める。また、大学教育の質の向上を図るため、教育課程等の見直し、大学教育の質や成果の「見える化」、成績評価等の厳格化等を推進し、知の基盤強化を図る。少子化や経済社会の変化等を踏まえ、大学の組織再編等を促進するため、設置者の枠を超えた大学の連携・統合を可能とする枠組みや、経営困難な大学の円滑な撤退や事業継承が可能となる枠組みの整備に向けた検討を進める。海外留学支援や外国人留学生・研究者の受入れの促進を通じて大学の国際化を進める。あわせて人材投資を効果的に行うために必要な教育基盤の確立

に向けて新たな教育振興基本計画を年度内に策定し、総合的な取組みを推進する」としている。

この中で触れている教育振興基本計画は、2006年に改正された「教育基本法」第17条に規定されているが、民主党政権下で具体化が棚上げとなっていたものである。改正教育基本法では、第8条に「私立学校」の条文が新設され、「国及び公共団体は、その自主性を尊重しつつ助成その他の適当な方法によって、私立学校教育の振興に努めなければならない」と明記されており、私学助成の新たな可能性を探る意味でその具体的計画の策定に期待したい。

二・2020年の教育改革と今後

教育改革としては、大学改革に加え2020年の高大接続(センター試験)改革、学習指導要領改訂など初等中等教育分野でも大きな改革が間近に迫っている。今回の学習指導要領改訂では、「急激な社会的変化の中でも、子どもたちに未来の作り手となるために必要な知識や力を育む」ことをテーマに、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善を行うとしている。

英オックスフォード大学のオズボーン准教授は、2014年に発表

した「雇用の未来」という論文で「10年後にはロボットなどの機械に代わられ、米国の総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高い」と結論づけている。また、ビル・ゲイツ氏も「創造性を必要としない仕事はすべてテクノロジに代行される」と言っている。

自分のやりたいと思っている仕事が増えなくなったら大変なことだが、これについては、47%の仕事がなくなるという悲観的な捉え方ではなく、47%もの新しい仕事が生まれるという前向きな捉え方をすべきだろう。因みに、10年後に新しく生まれる職業の例として、ロボットアドバイザー、パーソナルデジタルキュレーター、マインドカウンセラーなどが考えられている。本大学の臨床心理学科にも新しい研究分野が加わるかもしれない。

現在を「VUCA」の時代と呼ぶことがあるが、これは変動・不確実・複雑・曖昧の頭文字を取った造語である。私はこれに変化の早さを加味して「VUCAS」の時代と呼ぶべきではないかと思っている。

こうした時代に活躍できる「『成徳』の精神を持つグローバル人材」を、幼稚園から大学院まで育てていかなければいけないと考えている。



「学長に就任して」

東京成徳大学学長 新井 邦二郎

この四月より、海保博之前学長の後任として学長になりました。ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひします。

まずは自己紹介から

一九四七年一月、埼玉県秩父市に生まれ、十八歳までそこで育ちました。自然豊かな里山のなかで幾多の楽しい経験をした子ども時代が私の心の財産のひとつになっています。苦しいことがあっても、子ども時代の楽しい記憶が『生きていけば、何かいいことがある』と勇気づけてくれます。

大学は東京教育大学に進みまし
た。東京オリンピックの翌年の昭和
四〇年四月のことです。これにはご
自分の夢であったという担任教師
の強い勧めがありました。自分は
『人の生き方』に興味を持っていた
ので、『倫理学』か『心理学』のど
ちらかを選ぶように思っていました
が、当時はそれらの違いをよく知ら

ないまま、それまで習ったことのない『心理学』に心が引かれ選択しました。家族からは『心理学』を専攻して将来何になるかと不安がられました。『心理学』を生かす道が社会にたくさんあることを知ったのは入学してからでした。

入学しても、『人の生き方』と無関係な心理学の授業に失望の連続でした。そのうち『経済学』のほう
が面白くなり、二年生のとき転学科
を真剣に考えましたが、結局決断し
ませんでした。しかし四年生になり
『子どもの知的発達と教育』のテー
マを見つけ、ようやく『心理学』が
面白くなり、その面白さが大学院進
学へと駆り立てました。

自己紹介の続き

大学院修士・博士課程の五年間を
終え二七歳のとき、幸いに東京教育
大学心理学科の助手の話をいただき
ました。教授の院生や学部生に対
する研究指導の補助とか学科事務
が主な仕事でした。三年の任期付で

したので、二年目に埼玉大学教育学

抱負

部の講師に応募したところ、これも
運よく採用されることになりました。
た。その二年後の三一歳のとき助教
授に昇進しました。自分の出身県の
埼玉大学に骨を埋める気持ちでし
たので腰をすえて教育も研究も行
うことができ、教員免許状(高校社
会)や教育学博士の学位も取得しま
した。学位取得後、ほかの大学から
『うちに来ないか』との話をいただ
きました。母校筋の筑波大学から
声をかけられたときに異動しまし
た。四二歳から六三歳までの二一年
間、浦和の自宅に家族を残し、筑波
の単身宿舎を借りて勤務しました。
週末に自宅に戻っても学会等の会
合がありで家人には、ずいぶんとさ
びしい思いをさせました。今はその
ときの罪滅ぼしで夕飯をなるべく
一緒に食べるように努めています。

これから述べることは私の希望
というべきものかもしれませんが。本
学のすべてのスタッフが『共生とコ
ミュニケーション』の精神で仕事を
することを望んでいます。『共生と
コミュニケーション』は本学の教育
目標として作られたものですが、す
べてのスタッフがそれぞれの仕事
の基本姿勢として大切にしていけ
れば素晴らしいと思います。学生に
対して教員が教育を、職員が支援を
行うときも、また教員同士、職員同
士が仕事を行うときも、はたまた教
員と職員とが一緒に仕事を行うと
きも、年齢や職位、あるいはキャン
パスや学科・課の違いを超えて『共
生とコミュニケーション』を心がけ
ていければと願っています。

四七歳で教授になったあと、心理
学研究科長、心理学系長、人間学類
長、附属高校長などで多忙の日々を
過ごしました。いまから思うと、助
教授時代がいちばん充実していた
と思います。筑波大学退職後、周囲
のご尽力で幸運にも本学に採用さ
れ、これまで心理学研究科長を七年
間務めてまいりました。

その上で、『オール東京成徳学園』
の意識を持つて学生の教育や支
援にかかわることを願っています。
スタッフ一人ひとりの力には限界
があるかもしれませんが、教職員の
力がまとまればまとまるほど、東京
成徳大学の教育や支援の質が向上
し、社会からの信頼度も高まってい
くと確信しています。

大学の改革

大学新校舎6号館の着工

大学・短期大学東京キャンパス（東京都北区）に新校舎6号館が建築されることになり、5月26日、起工式が挙行されました。来年4月の竣工に向けて工事が無事スタートいたしました。同キャンパスは、平成26年に建替えにより新校舎3棟が完成していますが、大学院と臨床心理学が新たに移転したことや今後の大学の展開を考慮して新棟建築に至りました。

新棟は、教室と研究室が主体で、使い易さと快適性を追求すると



もに、グローバルセンター（仮称）を一階に設けるなど新たな教育への取組みにも対応できることを目指しています。新棟の概要は、次の通りです。



（建築概要）

- ・工期 平成29年5月～平成30年4月
- ・構造 鉄筋コンクリート造及び鉄骨造6階建
- ・延床面積 6,973.42㎡
- ・施設内容 大教室14室、小教室13室、研究室32室など
- ・施工会社 清水建設株式会社

福祉心理学の募集停止

応用心理学部福祉心理学は、我が国における高齢社会等をはじめとする社会福祉分野の課題に対応できる福祉分野のスペシャリスト育成を目的として、平成5年の大学開学時に人文学部に開設されました。以来四半世紀の歩みの中で、「福祉心理学」を広めるとともに、思いやりに満ちた福祉マインドを持つ千三百人余の卒業生を輩出してきました。

しかしながら、社会情勢の変化を踏まえて大学の将来構想を検討する中で、福祉心理学の学生募集を平成30年度から停止することになりました。

なお、在学生の皆さんにつきましては、今後引き続き教職員一同責任をもって卒業まで教育を行って参る所存です。

人文学部の移転

人文学部（日本伝統文化学科・国際言語文化学科）は、新校舎が完成する平成30年度入学生から順次東京キャンパスに移転することになりました。これに伴い、平成30年度人文学部入学者向けのオープンキャンパス及び入学試験は、東京キャンパスで実施する予定です。

なお、千葉キャンパス（八千代市）で現在学んでいる人文学部及び応用心理学部の学生に対する教育は、卒業まで引き続き千葉キャンパスで行います。

地域創生研究所の設置

大学では、研究所が、研究基盤を担うとともに、その専門分野について精深な研究調査を行い、学術の発展進歩に寄与できるよう組織を整備しました。

平成29年4月に、地域創生研究所が設立され、企業・経済・社会の実態を研究調査し地域の発展に資する提言等を行うことになりました。研究所長には、岡田康司前経営学部長が就任されました。

臨床心理学の定員増

応用心理学部臨床心理学は、新校舎の完成する平成30年度から入学定員を70人から112人に42人増員することとし、公認心理師の法制化などで拡大するニーズに 대응していきます。

全学教職員SD研修会がスタートしました

企画・IR室長 長谷部孝司

社会情勢が急速に変化していく中で、大学がその使命を十全に果たすためには、すべての教職員が大学運営に必要な知識と技能を高めることが重要であるとして、今年度から文部科学省は、大学等に対して全学教職員を対象とするSD（スタッフ・ディベロップメント）の実施を義務化しました。これまで、教員と



左より 長谷部教授、石黒准教授、田村教授、村山教授

職員の大学運営能力の開発は別々に進めてきましたが、これにより両者が一体となって取り組むこととなりました。

このような動きの中で、本学ではいち早く昨年11月から第1回SD研修会（講演「私立大学、これから10年」榎谷隆夫氏、公認会計士・税理士）を開始し、12月には「東京成徳大学SD活動推進委員会」を発足させました。さらに、本年4月の入学式後には、第2回SD研修会を、第一部（講演）「主に学力の低い学生を意識したアクティブラーニングと評価のあり方」（成田秀夫氏、河合塾教育イノベーション本部開発研究職）、第二部（シンポジウム）「学生の休学・中途退学を考える」として開催しました。

昨今、多くの大学で退学の増加が問題となっており、本学も決してその例外ではありません。文科省の調査によると、平成24年度の退学の理由の第1位は「経済的理由」20.4%で、以下は「転学」

15.4%、「学業不振」14.5%と続き、その他には「学校生活不適応」4.4%などとなっています。

そこで今回のシンポジウムでは、3名のパネラーが、(1)「学業不振」（石黒万里子准教授、子ども学部）、(2)「メンタルヘルス・対人関係」（田村節子教授、応用心理学部）、(3)「経済的問題」（村山純教授、経営学部）の観点から、本学の休学・退学の現状と対応策について発表しました。

まず石黒准教授からは、子ども学部では学業不振者を減らすために、①専門職に就くための人間性の育成と専門的知識の修得、②就職試験（公務員試験）対策、③大学生としての学びの確保、の3点から支援を行い、退学者をごく少数に抑える結果に至っているとの報告がありました。

田村教授からは、学校心理学や学校臨床の立場から、メンタルヘルスと対人関係支援のための対応策としては、①楽しいこと、②人間関係があること、③学生にとって意味があることができている、の3点をいかに確保するかが重要であるとの発表がありました。

最後に村山教授からは、経済的理

由による退学への対策としては、①奨学金に関する情報の学生への周知、②入学時からのファイナンシャル・プランニング策定の重要性、が指摘されました。

発表は、それぞれの専門分野の調査や教育現場での体験を踏まえて、大変示唆に富むものでした。参加者からは、多くの質問が寄せられました。

冒頭でも述べましたように、これまで大学における教職員の能力開発は、教員と職員が別々に行っていました。と同時に、学部・学科においても、それぞれが独自に進めていました。それぞれの教育現場には固有の課題がある以上、これにはもちろん合理性がありました。

しかし、社会のあり方が高度化し複雑化していく中で学生の多様性が増している現状では、さまざまな立場や分野の経験と専門知識について、広く情報共有を進めながら議論を深めていくことが、ますます必要になっていきます。今回の各分野からの発表は、その重要性を強く実感させてくれるものとなりました。全教職員SD研修会は、徐々に軌道に乗りつつあります。

理事・評議員の異動 学園人事 平成29年2月1-7月

平成29年3月に開催された学園理事会において、理事・評議員の一部改選が行われ、次の通り決定いたしました。併せて、吉田富二雄応用心理学部長が新たに評議員に選任された一方、星野薫評議員が退任されました。

の改選に伴い、理事は、海保博之学長から新井邦二郎新学長に、評議員は、

理事・監事・評議員

平成29年4月1日現在

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内秀樹	短期大学長、中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	木内秀俊	学園長、学事顧問
理事・評議員	○新井邦二郎	大学長
理事・評議員	神田正	深谷中学・高等学校長
理事・評議員	渡部賢	大学事務局長、短期大学事務局長
理事・評議員	竹内利行	群馬大学元副学長
理事・評議員	前田雅英	日本大学大学院法務研究科教授
理事・評議員	青柳晴久	赤城印刷株式会社代表取締役
監事	黒田定男	元 大学八千代事務局長
監事	黒崎康夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
評議員	松崎博	大学事務局次長
評議員	石山賢	内部監査室長、法人本部企画調査室長
評議員	○村山純	大学経営学部長
評議員	関博光	法人本部法人事務局長
評議員	染谷一子	中学・高等学校同窓会長
評議員	遠藤洋子	短期大学同窓会長
評議員	藪崎精克	株式会社藪崎工務店代表取締役
評議員	木内雄太	法人本部副本部長
評議員	○吉田富二雄	大学応用心理学部長
評議員	安見克夫	短期大学幼児教育科長
評議員	永井聖二	大学子ども学部長
評議員	津島泰雄	津島歯科医院院長

(注) 選任区分順 ○印は新任

(就任)

理事 新井邦二郎

平成22年、筑波大学を定年退官後、東京成徳大学大学院心理学研究科長・教授として着任。同年5月より学園評議員。教育学博士。平成29年4月大学長に就任。

評議員 村山純

平成25年、日本長期信用銀行(現新生銀行)、ドイツ銀行などを経て東京成徳大学経営学部准教授として着任。平成27年同教授。ハーバード大学修士。平成29年4月経営学部長に就任。

評議員 吉田富二雄

平成24年、筑波大学を定年退官後、東京成徳大学応用心理学部臨床心理学科長・教授として着任。博士(心理学)。

平成25年4月応用心理学部長に就任。

(退任)

理事・評議員 海保博之

平成18年、筑波大学を定年退官後、東京成徳大学人文学部福祉心理学科長・教授として着任。平成21年応用心理学部長、平成23年副学長、平成25年学長就任。平成20年より学園評議員、平成23年より学園理事。

応用心理学部や健康・スポーツ心理学科の開設など大学並びに学園の発展にご尽力いただきました。

退任後は、これまでの功績により、大学名誉教授の称号が授与されるとともに、学園の教育研究に助言・指導をいただき、学術顧問が委嘱されました。

評議員 岡田康司

平成21年、日本長期信用銀行(現新生銀行)、流通科学大学学部長・教授、大阪産業大学教授などを経て、東京成徳大学経営学部長・教授として着任。平成22年学園評議員。

本学初の社会科学系学部、経営学部の開設など大学並びに学園の発展にご尽力いただきました。

退任後は、新たに大学に設置された「地域創生研究所」の初代所長に就任され、本学の研究基盤の二翼を担うことになりました。

評議員 星野薫

平成25年、さいたま市立小学校教諭・教頭・校長を経て、東京成徳短期大学附属第二幼稚園長として着任。同時に学園評議員。第二幼稚園並びに学園の教育充実にご尽力いただきました。

時代と学生のニーズを先取り



経営学部長

村山 純

本年4月1日、経営学部長に就任しました。

経営学部は、設立から8年たちましたが、その間、前学部長の岡田先生の下で、大きく発展してきました。カリキュラムについては、平成25年にファッション関係、平成28年にエンターテインメント関係、そして本年より、観光関係の科目群を導入し、時代と学生のニーズに 대응するとともに、オリジナリティを打ち出しました。こうした施策のもと、本年の入学人数は132名を数え、これまでで最多の学生を迎えるに至っています。

本学部では、設立以来、社会に役立つ実学の研究・教育に力を入れてきました。実学というと、大学で学んだ知識や技術を、就職してすぐに会社で使いこなすイメージがあると思います。もちろん、そうした、即戦力になる知識や技術も大事なのですが、本学部の目指す実学は、もう少し長期的なものを含んでいます。

例えば、卒業生は、社会経験を積む中で、様々な困難に出会うはずで、社会の動きは激しく、大学で学んだ知識が陳腐化する可能性も少なくありません。そうした時、自分の抱える問題の性質を理解し、適切な答えを見つけていく、そのような力を身に着けることも実学なのです。

また、近年の人工頭脳（AI）技術の発展は目覚ましく、人間の行っていた頭脳労働が次々とコンピュータによって代替される時代が近づいているといわれます。こうした時代において、人間は、コンピュータでは不可能な創造力を発揮していかなくてはなりません。これもまた、実学です。

実学を身に着けるには、まず、基礎力が大事です。本学部では、本年より1年生の基礎演習において、基礎力養成のための全学年共通テキストを導入しました。

次に、気力・体力が大事です。気力・体力を得るには、自信を持たなければなりません。本学部では、少人数教育の恵まれた条件を生かし、一人一人の学生が自信を持てるよう、各種の資格取得促進など、指導を強化しています。

どうぞご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

大学院心理学研究科の抱負



心理学研究科長

石隈 利紀

この4月に心理学研究科長を拝命しました。私は昨年4月に東京成徳学園の一員になりました。応用心理学部臨床心理学科および心理学研究科で勤務しております。本学園で1年あまり仕事をさせていただき、教職員の学生へのかかわりが暖かく、学生一人ひとりをていねいにサポートしていることが学園の強みであることが分かり、学園の一員であることを誇りに思っています。

心理学研究科は、前研究科長新井邦二郎先生（現学長）の下で大きく発展してきました。次のステップとして二つの抱負を述べます。

①公認心理師養成大学院として高い地位を獲得する

公認心理師は、日本で初めての心理職の国家資格です。公認心理師法が平成27年9月に公布され、今年9月に施行の予定です。厚生労働省で開かれた「公認心理師カリキュラム等検討会」（有識者会議）に私も参加しましたが、カリキュラム等について報告書がまとまったところ

です。全国の大学・大学院が来年度の新カリキュラムにむけて準備をしています。心理学研究科では、応用心理学部とともに公認心理師のカリキュラムの準備を進めており、来年度の新入生から公認心理師養成を始めます。本研究科は、臨床心理学、学校心理学、発達心理学、社会心理学、健康心理学等の優れた教員がそろっており、また心理・教育相談センターで実践訓練の機会を提供しています。全国的にもトップクラスの公認心理師養成大学院になるよう努力します。

②東京成徳学園に貢献する

心理学研究科の学生は、応用心理学部の授業でTAとして働いています。心理・教育相談センターは、学園関係者には「学園特別価格」で相談をお受けしています。今後併設校の教育や生徒支援などお手伝いできることを増やしていきたいと思っています。また子ども学部、経営学部、人文学部の先生方と、グローバルな課題に関する教育や研究が共同できればと願っています。これからも東京成徳学園チームの一員として、「共生とコミュニケーション」の理念を実現していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

平成29年度事業計画(抜粋)

部門		事業内容
高等教育部門	大共 学通	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京成徳ビジョン100」計画に沿った、学部・学科のあり方の検討 ・私立大学等改革総合支援事業（文科省）が示す「教育の質向上」に向けた取組みの推進 ・「平成29年度SD活動実施方針」に基づき、各学部等のSD活動の推進 ・平成27年度～28年度の自己点検・評価を行い、自己点検評価書を作成 ・教育免許状更新講習、公開講座、学生ボランティア活動等を通じた地域連携の推進 ・交換留学、語学研修等の海外交流を実施し、グローバルな人材の育成 ・受験生のニーズに応じた学生募集活動の展開と定員確保の取組みの推進
	人文学部 応用心理学部 大学院	<ul style="list-style-type: none"> ・入学定員を充足していない3学科の再編策の策定 ・FD活動の一環として、アクティブ・ラーニングを推進し、授業アンケートの実施 ・八千代施設・設備の修善・更新を適切に行い、学修環境の維持・保全を推進 ・公認心理師制度の動向を踏まえ、効果的な教育課程の編成を検討
	子ども部	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの表現活動」にかかわる履修メニューの整備、充実 ・幼稚園教員・小学校教員にかかわる教育課程、運営体制の整備並びに再課程認定への対応 ・東京学芸大学等との連携による教育支援人材育成支援事業の充実 ・大学院子ども学研究科新設の検討
	経学 営部	<ul style="list-style-type: none"> ・定員増に対応した体制整備 ①エンタテインメント・観光ビジネス科目設置による応募増 ②受験生の掘り起こし ③ファッションビジネス科目のアピール継続 ④実学専門教育の拡充（ビジネスアイデアコンテスト・懸賞論文・インターンシップ・現代ビジネス講座の実施）⑤キャリア教育の拡充（キャリア開発のための教育プログラム・就職支援策の充実）⑥授業の質の向上（授業評価アンケートの拡充・少人数教育の充実） ・北区や企業など地域・社会との連携強化 ・学生の福利厚生者の充実（学園祭・スポーツフェスティバルなどの行事の活性化）
	短大 期学	<ul style="list-style-type: none"> ・短期大学の恒久的安定化を図るために差別化を推進 ①子ども学部編入希望者に対する学内支援体制の整備 ②就職先への長期定着を目指し、実践力及び即応力の強化、実習園及び就職園への実習と就職の適正化推進 ③公務員合格率のアップ ・開かれた大学としての見える化の促進と活性化を図るため、保育研修会・保育研究発表会・音楽研究発表会・公開講座等の内容充実と拡大推進 ①広報活動の推進 ②自治体との協力体制の確立と地域ネットワークの構築 ③グローバル教育の促進と学園内の人材を積極的に活用による教育プログラムの推進 ・特質に向けた教育課程の再編を行うため、FD・SD活動の互恵的関係を構築（教員及び学生の快適な学びの場を構築し質の向上を促進）
中高等 学 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京成徳ビジョン100」で示された目標の段階的実現に向けての検討、取組み ①高等部でのCTP授業の展開、1コマ45分授業の実施 ②中高一貫部での新留学プログラム実施に伴う学校生活全般に係る検討 ③「自分深め学習」の推進 ④英語教育の研究と実践（ネイティブ教員の活用）⑤理科・社会などの教科におけるアクティブ・ラーニング導入の検討 ・運動施設の確保整備（南グラウンド借用など）と部活動の振興 ・防災への対応（避難訓練・研修会の実施、防災備品の入替・購入）、設備の更新 	
深谷中学・高等 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神と5つの教育目標に基づく教育活動を推進し、一層魅力ある校風の確立 ・教務部・進路指導部・各コースの綿密な連携によるコース特性に応じた適切な進路指導 ・互見授業や生徒による授業アンケート、アクティブ・ラーニングの推進で更なる授業改善 ・放課後・長期休業中の講習やスタディサブリの有効活用による実力養成、生徒の自主学習の奨励 ・高大接続システム改革会議最終報告に対応した方針や対策の検討 ・学校訪問の強化、計画的・戦略的な広報、ホームページの充実等募集活動の積極的な展開 ・奨学制度（奨学生・スポーツ奨学生・特待生）の見直し 	
幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象講演会等の実施 ・カリキュラムの大幅見直し改善、教員研修の実施（保育関連研修・マナー研修など） ・防災への取組み実施（備品整備、避難訓練、研修など） 	
第二幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から休園につき、遺漏ない諸対応（外部の照会、設備等管理、住民動向把握） 	
法人本部	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京成徳ビジョン100」に基づいた第1期中期計画（H29～31年度）の策定、PDCA体制確立 ・時代のニーズに合わせた大学学部学科の再編検討・実施 ・十条台キャンパス再整備・旧清至中学校跡地の取得及び資金調達の検討 ・内部監査室の設置・各種監査の充実による管理運営体制の強化 ・組織の見直し実施、権限の明確化・規程の整備の他、活力を生む人事制度の強化 ・省エネ中長期計画の具体化、各部門に徹底・推進 ・広報誌・HPの充実、パブリシティ体制の構築など広報の見直し 	

平成28年度事業の概要

学園は、創立91年に当る平成28年度に、1,699人の卒業生を送り出し、累計卒業者が12万2千人を超えました。また、平成29年4月に、1,798人の入学者を迎え、平成29年5月1日現在の在籍する学生・生徒・園児数は、5,303人となりました。

学園の主要事業としては、①創立100年のビジョンをまとめた「東京成徳ビジョン100」を具体化するため、第一期中期計画（平成29～31年度）の策定着手、②効率的で効果的な運営を目指し校地校舎の統廃合を進める一方、遊休となった資産の売却実施、③法令の制定や改正に伴い、学園におけるマイナランバー制度の導入・教職員のストレスチェックの開始・育児介護休業制度の変更、などを行いました。

高等教育部門の主要事業は、①平成28年度から十条台キャンパスに移転した応用心理学部臨床心理学科及び大学院心理学研究科の円滑な新体制への移行、②シラバスの第三者チェック・学習行動調査・授業の質

を高めるFD・SDの実践等「教育の質向上」に向けた取り組み推進、③経営学部エンタテインメントビジネス科目の充実・臨床心理学新カリキュラム導入等教育課程の整備、④コンサルタントに依頼し外部の目によるチェック・広告訴求効果の高い媒体へのシフト・スマートフォン対応のホームページ拡充等広報戦略の強化、⑤短期大学における実践的教育の充実による特質ある教育の明確化、などを行いました。

中等教育部門の主要事業は、①柔軟な発想力・論理的思考を養うCTP (Critical Thinking Program) 授業の展開・ネイティブ教員増員による英語教育の充実・高等部の「45分7時間授業」の導入等教育改善取り組み、②進路指導充実のための外部講師による補習・スタディサプリの導入、などを行いました。

幼児教育部門の主要事業は、教職員の資質・指導力の向上を推進しました。なお、詳しくは、学園ホームページをご覧ください。

学校法人東京成徳学園 平成28年度決算報告

資金収支計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	4,067,169
手数料収入	119,138
寄付金収入	42,296
補助金収入	1,462,106
資産売却収入	1,046,412
付随事業・収益事業収入	11,713
受取利息・配当金収入	734
雑収入	195,169
借入金等収入	1,500
前受金収入	906,251
その他の収入	307,081
資金収入調整勘定	△ 1,095,065
前年度繰越支払資金	4,486,274
収入の部合計	11,550,778
支出の部	
人件費支出	3,770,594
教育研究経費支出	991,979
管理経費支出	430,341
借入金等返済支出	0
借入金等返済支出	147,980
施設関係支出	85,676
設備関係支出	67,686
資産運用支出	300,000
その他の支出	243,903
資金支出調整勘定	△ 231,449
翌年度繰越支払資金	5,744,068
支出の部合計	11,550,778

事業活動収支計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	4,067,169
手数料	119,138
寄付金	200
経常費等補助金	1,460,507
付随事業収入	11,713
雑収入	195,526
教育活動収入計	5,854,253
事業活動支出の部	
人件費	3,759,564
教育研究経費	1,799,224
管理経費	509,025
徴収不能額等	11,800
教育活動支出計	6,079,613
教育活動収支差額	△ 225,360
外収支	
教育活動外収入計	734
教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額	734
経常収支差額	△ 224,626
特別収支	
特別収入計	259,581
特別支出計	97,908
特別収支差額	161,673
基本金組入前当年度収支差額	△ 62,953
基本金組入額合計	△ 121,108
当年度収支差額	△ 184,061
前年度繰越収支差額	△ 11,166,528
基本金取崩額	1,573,740
翌年度繰越収支差額	△ 9,776,849
(参考)	
事業活動収入計	6,114,568
事業活動支出計	6,177,521

貸借対照表

(平成29年3月31日) (単位:千円)

科 目	金 額
資産の部	
固定資産	42,286,865
有形固定資産	39,418,850
特定資産	2,779,965
その他の固定資産	88,050
流動資産	6,063,480
資産の部合計	48,350,345
負債の部	
固定負債	2,929,956
流動負債	1,522,169
負債の部合計	4,452,125
純資産の部	
基本金	53,675,069
第1号基本金	52,952,069
第3号基本金	300,000
第4号基本金	423,000
繰越収支差額	△ 9,776,849
純資産の部合計	43,898,220
負債及び純資産の部合計	48,350,345

ひと

『活躍する卒業生』

東京成徳大学深谷高等学校

(平成20年3月卒業)

埼玉県総合リハビリテーションセンター勤務

水野 直也さん

Q. 高校の思い出・学んだことは

私は埼玉県熊谷市江南中学校サッカー部に入り熱中していました。その頃、東京成徳深谷高校は県北の強豪校で憧れていました。そんな折深谷校のサッカー部の監督の先生から声をかけていただき進学コースに入学することができました。

1年生の時から抜擢されて、試合に出させていただき選手権二次予選リーグまで進むことができました。しかし私は怪我が多くリハビリしてから、レギュラーに復帰、また怪我をしてリハビリという状況で



した。3週間とか1ヶ月ボールを蹴られないことの繰り返しは本当に辛かったです。

3年生の時は副部長でしたが、最後の合宿の時キャプテンが怪我をして試合に出られなくなつたので、私がキャプテンを務めましたが残念ながら敗戦してしまいました。非常に悔しい思いと申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

勉強の方は部活をやっているもクラスのライバルには負けたくないの、周囲の人を目標として頑張りに上位にすることができました。3年に進級する際に「人の役に立ちたい」と思い、最初は介護の道を考えていました。ところが部活の監督である先生から「君は看護師はどうだ」と言われ、しかも3年生の担任の先生からも勧められたので、それから看護の道を目指して周囲の人から沢山情報をもらい、協力していただきました。埼玉県立高等看護学院へ入学するために「小論文」と面接を繰り返し勉強しました。東京成徳深谷の先生方は相談すれば的確なアドバイスと懇切丁寧な指導をしてくださいます。いろいろな小論文のテーマを設定してもらい何回も書き直して、先生に直していただ

きました。ですから迷った時はまず先生に相談することです。中学生の時に私の父親が仕事で手首の複雑骨折をしてしまった時の看護師の対応なども看護師を目指す契機になりました。

幸い公募推薦で合格できたのですが、合格者80人の内、男性は僅か8名でした。在学中の3年間は日々勉強でした。2年生までは座学と実習で座学が7割位なのですが、最後の1年間は、ほぼ10ヶ月は実習です。1クールが1ヶ月ですので、10ヶ所の埼玉県内の病院で学ぶこととなります。つまり1クール毎に病院が変わるわけです。認定看護師の資格をもった先生方の講義を聞いたり、指導を受けながら、患者さんの入院生活の手助けをします。しかし患者さんも神経内科、脳神経外科、整形外科などと多岐にわたるかなりハードでした。辛い療法をできない患者さんもあり、リハビリ科の先生方が立てたプラン通りに回復しないと患者さん自身が落ち込んでしまいます。

実習担当の看護師さんについて仕事をするので、入浴の介助などを終えると「さっぱりした。ありがとう。」と感謝の気持ちを言葉で表現されると、こちらも報われた気持ちになり、やり甲斐がでてきます。

Q. 後輩へのアドバイス

皆さんが目指している大学などへ入学するためには、小さいことから継続した努力をすることが大切です。挫折しそうになった時はクラスの人や友人やたくさんの先生に相談することです。夢を叶えるためには自分が頑張らないと実現できません。今が頑張る時ですよ！

進路 進学・就職

東京成徳大学高校

国公立大学 (準大学含む)	36 名
大阪大学 東北大学 九州大学 筑波大学 東京農工大学 電気通信大学 千葉大学 横浜国立大学 東京学芸大学 埼玉大学 群馬大学 茨城大学 首都大学東京 埼玉県立大学 都留文科大学 静岡大学 琉球大学 防衛大学校 など	
難関私立大学	263 名
早稲田大学 慶応大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 青山学院大学 法政大学 中央大学 立教大学 など	
その他私立大学	1,172 名
東京成徳大学	19 名
東京成徳短期大学	6 名
その他短期大学	13 名

平成 28 年度の卒業生 592 名のうち、進学者は 529 名でした。その内訳は、大学 476 名、短大 15 名、専門学校 38 名です。進学率は 89% で、昨年度と同率。また、大学進学率は全体の 80% と、若干上昇する結果となりました。捲土重来を期す浪人の数は 53 名 (9%) で、例年より少し少なくなりました。新しい動きとして、卒業後の留学を志す者が 9 名いました。昨年度は 3 名、一昨年度は 1 名でしたので、急増したと言っても良いかもしれません。

(大学入試全般)

平成度 29 年度入試は、18 歳人口の増加と景気の堅調を受け、特に都市部の私大を中心に志願者の増加と、文高理低の継続という傾向が見られました。センター試験の平均点も一部を除き全体的に落ち着いた結果となりました。(国語は 22 点、日本史は 6 点低下。) この結果、文系私立型の一部の生徒には多少辛い戦いになったかもしれません。

(国公立大学について)

センター試験が落ち着いた結果だったので、全体の志願者にも大きな変動はなく、前年並みの出願数となりました。学部系等では、文系(法・政治・経済・経営・商)学部と工学部で志願者が増加し、強気の出願が見られました。その結果、文系は難化傾向となり、本校の国公立文系生徒たちの苦戦は続きました。結果として、阪大・九大・東北大など国公立現役合格者 33 名のうち、文系が 11 名、理系が 22 名と、大きく理系超過の合格となりました。

(私立大学について)

就職状況の好転を反映し、人気復活の文系の中でも、法学系、経済・経営系、国際系、人文(英語)系は

昨年に続いて人気があり、文系学部の志願者は全体的に堅調でした。特に都市部の総合大学は志願者が増加し、初めて 6 大学(近畿・法政・早稲田・明治・日本・東洋)がそれぞれ 10 万人超の志願者を集めました。さらに、文科省の大学定員厳格化のあおりを受け、大規模校を中心に合格者の絞り込みが顕著となりました。その結果、これらの大学では入試の難化と、補欠合格の多発が見られました。そのような中、本校の生徒は受験件数を増やし、健闘をしました。早慶上理は 45 名(前年比 4 増)、GMARCH は 218 名(前年比 27 増)、文系難関(成成武国明獨)と理系難関(北里・芝浦工業 等)合計は 227 名(同 68 増)、日東駒専 256 名(同 60 減)、大東亜帝国 172 名(同 45 減)、となりました。全体的に上位グループの大学が、受験数・合格数ともに増加しました。

東京成徳大学深谷高校

特進選抜・特進・進学選抜コースについて、進学実績の向上を目指して見直しを行った結果、平成 28 年度入学生からコースの再編を行いました。特進選抜と特進を統合して特進

S コース、進学選抜コースは名称の変更は行いませんでしたが、講習(7 時間目と土曜日)と部活動との選択制を導入しながら、大学を一般受験で合格できる力を蓄えることを目標に教育活動を展開しています。

その中の一つの施策として、昨年度からスタディサプリを導入しました。特に進学選抜コースの部活動選択のフォローを充実させるため、今年度は進学選抜コースでも全員を取組としました。教員から指定された講座に取り組むことは勿論、3,000 を越える講座の中から自ら選んだ講座に取り組むこともできます。到達度テストも実力チェックに役立っています。

平成 28 年度合格実績 (浪人を含む)

国公立大学	3 名
群馬県立女子大学 高崎経済大学	
私立大学・短期大学	196 名
立教大学 法政大学 成蹊大学 津田塾大学 武蔵大学 東洋大学 東京女子大学 駒澤大学 獨協大学 芝浦工業大学 東海大学 帝京大学 亜細亜大学 大東文化大学 国土館大学 など	
東京成徳短期大学	4 名

大学・短期大学

平成27年度卒業生の就職決定率は、別表の通り多くの学部・学科で前年度を上回りました。また、全ての学部・学科で90%以上の就職決定率を達成することが出来たのは、「学生任せの就職活動」ではなく、教職員が協働しながら学生の就職活動を支援した結果に他なりません。このきめ細やかな就職支援体制が本学の強みであり特徴となりま

す。就職の外部環境は好転していませんが、自分が納得する企業に就職するということになると話しは変わってきます。在学生・保護者等関係の方に、就職に関する最新の状況を知って頂き、「チーム」として学生の就職支援を行っていくために、今号では就職を取り巻く環境と本学の学生の状況について、就職情報会社のデータを交えながらご説明致します。

就職状況について

平成27年度卒業生の有効求人倍率は、リクルートワークス研究所の調査によると1.74倍でした。有効求人倍率とは、「求人数」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。従って、有効求人倍率「1.74」という数字は、就職先を選ばなけれ

ば全員が就職出来るということになります。では何故就職率が100%とまらないのか。勿論、夢や目標があり、そこを目指すため就職活動をしていない学生もいますが、「働け気が無い」学生が一定数いるのです。本学でも「就職活動をするのが面倒」「元々就職する意欲が無い」という学生がいるため、低学年時からのキャリア教育科目の中で就職観・職業観の涵養に注力しています。

就職活動のスケジュールについて

日本経済団体連合会（以下「経団連」）の指針では、平成29年度卒業生の広報活動開始は5月1日から、選考、活動開始は6月1日からとなっています。しかし、就職情報会社マイナビの調査によると、5月末日時点での内々定率は43.0%つまり、実態としては半数近くの学生が、本来の選考活動開始日以前に内々定を持っていたこととなります。これは、経団連に加盟していない企業や外資系企業を中心に、6月1日以前に採用活動を行ったり、経団連加盟企業もフレイング気味に採用活動を行う企業があるためです。実際、本学でも2割強の学生が5月末日時点で内々定を保有していました。

インターンシップについて

株式会社ディスコが平成29年2月に行った調査によると、インターンシップを「実施した」企業は58.5%（前年比8.2ポイント増加）。特に大手企業のインターンシップ実施率は76.9%となっています。実施時期は夏季インターンシップ（8月・9月）は、前年との変動が少ないのですが、12月は前年度の21.9%から10ポイント以上増加、2月は前年度の59.5%から8.1ポイント増加など、冬季インターンシップの増加が目立ちます。インターンシップに参加する学生の割合も、マイナビの調査では、62.1%、平均参加社数も4社以上が24.5%となるなど漸増しています。本学では、インターンシップに積極的に参加する学生が、平均と比べ多いとは言えない状況です。インターンシップは、企業や他大学の学生を知る貴重な機会となるため、積極的に参加してもらいたいと思います。

平成30年度卒業生の就職活動

平成30年度卒業生に関しての就職活動も今年度と同じスケジュールとなります。

しかし、上述した通り、8月1日以前に内々定を出す企業が一定割合あり、かつインターンシップが選考

に与える影響も大きい（ディスコの調査では、インターンシップ参加学生に対して何らかの優遇策を講じるとする企業は56.7%）、積極的にインターンシップに参加してもらいたいと思います。

平成30年度も短期集中の就職活動となると想定出来ます。そして、インターンシップ参加の有無が就職活動に与える影響も増しています。更に、インターンシップに行くことで企業選択の軸、「企業選択の際何を重視するか」や「自分の人生で仕事をどう位置付けるか」というキャリアプラン」が形成されていきます。昨今では1年のうちからインターンシップに参加できる企業もあるので積極的にインターンシップに参加してもらいたいと思います。

前年度卒業生の就職活動体験記

応用心理学部 臨床心理学科



滝沢 麻裕さん

大学院への進学を考えていた私が、就職活動しようと思ったきっかけは、いとこの結婚式でした。そこでおもてなしが素晴らしく、こ

んなに人の心を動かす仕事があるのか、と心を打たれたからです。「愛が溢れる仕事がしたい」「一生に一度の大切なイベントに関わり、人の人生にプラスの影響を与えたい」そんな強い思いから、ブライダル業界一本で就職活動を行いました。

私が就職活動を行う上で念頭に置いたことは、「one of them」にならないということです。ありのままの自分を表現し、面接官の心を揺さぶるための言葉選び、話し方、表情、態度、熱意などの表現を常に考えて選考に臨みました。どんな些細なことでもなぜそれをしようと思ったのか、そこからどう感じ何を学んだのか、そして、何を大切にして生きているのか、を自分の言葉で伝えられることが重要なのだと、私は考えています。

自分と全く同じ経験をしてきた人、同じ感じ方、考え方をしている人は、誰ひとりとしていません。人の数だけアピールポイントはあります。是非、自分をつくらず、ありのまま、オンラインワンの自分を存分に表現してください。そうすればきっと、面接官の心を揺さぶることができるとは思います。振り返ったときに「自分の人生の糧になった」と思えるような就職活動をしてください。

就職決定率と主な就職先

学部	学科	就職決定率	主な就職先（過去3年）	
大学	子ども学部 子ども学科	99.2%	【教職・保育職】小学校、幼稚園、保育所、認定こども園、学童保育、児童館、施設等 【運輸】全日本空輸 【金融】りそなグループ / 朝日信用金庫 【建設】タマホーム 【アパレル（子ども服ほか）】ナルミヤ・インターナショナル / ユナイテッドアローズ / F・O・インターナショナル / アーバンリサーチ 【卸小売】東京山勝 / イトーヨーカ堂 / ノジマ / キタムラ / ゴディバジャパン 【情報通信】東芝テックソリューションサービス 【サービス】メガロス / ビックサイトサービス 【公務】西東京市職員	
	経営学部 経営学科	98.5%	【建設】日本住宅 / 川口土木建築工業 【製造】三菱樹脂 / 日本ロレアル / 東京鉄兼 【ガス】日本瓦斯 【金融・保険】第一生命保険 / 足立成和信用金庫 【出版】日刊工業新聞社 【医療】亀田総合病院 / 羽生総合病院 【アパレル】クロスカンパニー（現・ストライプインターナショナル） / イング / 京都きもの友禅 / ミキハウス 【卸小売】三越伊勢丹、東武ストア / ヨークマート / コーセイ化粧品販売 / あさひ / コメリ / 渡辺パイプ / アイスコ 【IT】トランスコスモス、コムシス情報システム 【ホテル・ウエディング】目黒雅叙園 【アミューズメント】ナムコ / ゲオホールディングス 【公務】葛飾区役所	
	人文学部	日本伝統文化学科	92.9%	【製造】新栄 / 若菜 / 中央フーズ 【卸小売】大竹建窓 / 木村実業 / 日通商事 / 角彦 / ヨークマート / レカムサービス / ハードオフファミリー / さえき / ナカザワ 【サービス】武蔵小山商店街振興組合 / 京越 / エコ・プラン 【物品賃貸】国土緑化 【福祉】千葉県福祉援護会、愛総合福祉、松里福祉会 【IT】日本企画
		国際言語文化学科	100.0%	【卸小売】コーセイ化粧品販売 / ロクシタンジャパン / 資生堂 / くすりの福太郎 / MX モバイリング / ビックカメラ / シティーヒル / トヨタカローラ千葉 / ダイハツ東京販売 / フードコスメ 【飲食】アントワークス / 大和フーズ 【IT】トランスコスモス 【サービス】不二コンピュータ / シティパークアンドサービス / 大江戸温泉物語 / 近畿日本ツーリスト / 旭川ケーブルテレビ 【病院】亀田総合病院 【保険】千豊 【不動産】レオパレス21
	応用心理学部	福祉心理学科	93.9%	【運輸】日本航空 【小売】スズキ自販千葉 【不動産】ハウスコム 【福祉】セントケア・ホールディング / 鳳雄会 / 印旛福祉会 / 優幸会 / シニアライフサポート / 成田山福祉財団 / 品川総合福祉センター / パナソニックエイジフリー 【病院】柏市立柏病院 / 千葉西総合病院 / 板橋中央総合病院グループ / 佐原中央病院 / 本多病院 / 恩田第二病院 【公務】千葉県職員<児童指導員>、千葉県教諭<特別支援>
		臨床心理学科	94.1%	【建設】東光電気工事 【金融】りそなグループ 【不動産】東建コーポレーション / オークラヤ住宅 【卸小売】第一水産 / 渡辺パイプ / 岡部バルブ工業 / 大創産業 / タカサ / レカムサービス 【IT】アイエスエフネット / テクノ・セブン 【サービス】大江戸温泉物語 / ベストブライダル / エイチ・アイ・エス 【福祉】愛光 / 東京福祉会 【医療】サンリツ 【公務】千葉県警 / 江南市役所
		健康・スポーツ心理学科	98.3%	【建設】東光電気工事 【製造】なとり / 協同工芸社 / キヨンゲ 【卸小売】SCミート / 日鐵商事溶剤販売 / 大都販売 / 大竹建窓 / メガスポーツ / イオンリテール / タカサ 【スポーツ】セントラルスポーツ / ノアインドアステージ 【サービス】ZEPE / 第一興商 / ソネットジャパン / ベアーズ 【保険】千豊 【医療】板橋中央総合病院 【公務】千葉県警
	短大	幼児教育科	100.0%	【教職・保育職】幼稚園、保育所、認定こども園、施設等 【建設】積水ハウス 【製造】モンテール 【アパレル】ユナイテッドアローズ / ナルミヤ・インターナショナル / フランドル 【サービス】ANA 成田エアポートサービス / シティアンドパークサービス 【公務】警視庁II類 【進学】東京成徳大学子ども学部 / 女子栄養大学栄養学部二部

平成 29 年 5 月 1 日現在

就職決定率 = 就職決定者 ÷ 就職希望者

大学院

来年「国際学校心理学会」が本学で

心理学研究科長 石隈利紀

昨年7月25日～28日、「国際学校心理学会 (International School Psychology Association)」の日本初大会を本学でお受けします。世界中の学校心理学者が十条台キャンパスに集い、子どもたちの成長を支援し、多様性の共生をめざす世界に貢献することを目指す発表やシンポジウムが開かれます。大学生・大学院生や高校生にボランティアとしてサポートしてもらいたいと願っています。また十条銀座の商店街の方のご協力もお願いする予定です。

この国際学会は東京成徳大学から、研究成果を国際的に発信する一つの機会です。現在科学研究費補助金を受けて研究しているプロジェクトが、本研究科の教員にも6件あります。田村節子先生の「発達障害児の支援」、西村昭徳先生の「教師用ストレスチェック」、石村郁夫先生の「感情障害のセラピー」、泉水紀彦先生の「大学生の社交不安」、私の「チーム学校」に関する研究などです。大学院の教員が学生とともに、東京成徳大学から研究成果を発信していきたいと思っています。

子ども学部

学生たちとのボランティア活動

―板橋区との地域連携より―

子ども学部准教授 長野麻子

子ども学部では平成28年より東京都板橋区から地域連携の要請を受け、地域の子育て支援活動に取り組んでいます。

活動内容は学生と近隣の児童館を訪問し、乳幼児の親子の皆さんのために手遊びや歌、紙芝居、絵本読み聞かせ、体操、リトミックなどのプログラムを実施したり、児童館のイベントのボランティアスタッフとして参加者の皆さんのお世話をしたりするなどです。教室での授業や保育園・幼稚園などでの実習とは異なり、児童館を訪問することで、地域の子育て事情を知ることができただけでなく、子育て中のお母さんたちの本音に触れることもできるため、このような活動は子ども学部の学生と教員にとって貴重な学びの機会です。また学生たちの学習意欲が大いに掻き立てられる様子も手に取るように分かり、やりがいや魅力を感じています。

先日も年に一度の児童館のお祭りである「こどもわくわくフェスタ2017」のボランティアスタッフ



を務めるために、子ども学部2年生30名と連れ立って、板橋区平和公園へ行きました。このお祭りは板橋区の全児童館の職員の方々が中心になり、子育て世代の家族のために、ステージでの歌や体操のショー、おもちの制作や遊びのコーナーを提供し、さまざまなふれ合いを楽しんでもらうためのもので、会場には大型遊具や焼きそば、わたあめ、飲み物などの屋台もあり、とても賑やかなイベントです。学生たちは各コーナーに配置し、着ぐるみを着てステージを盛り上げたり、熱中症防止のためのミストシャワーをふりかけたり、おもちゃの制作を手伝ったりするなど、それぞれの役割に従

事しました。

当日は天候に恵まれ、汗ばむほどの陽気で、会場を埋め尽くす大勢の家族の方々が来場されました。ベビーカーに乗った赤ちゃん、お父さんやお母さんと手を繋いだ子どもたちが行き交い、はちきれんばかりの笑顔と笑い声が至る所にあふれていました。学生たちも赤ちゃんや子どもたちを見るなり、笑顔になり、積極的に声をかけたり、遊んであげたりするなど、子ども学部の学生ならではの持ち味を十分に発揮したようでした。そして学生たちは児童館の職員の方々が繰り広げるステージの司会にも圧倒されていました。子どもにかけてはプロの職員の方々が楽しいトークや身振りで子どもたちを惹きつける姿はとても魅力的で、子どもの目線に立つた声のトーンや話す速度、分かりやすい言葉の選び方や身振りのアピールなど、すべて学ぶことばかりでした。子どもと関わり、子どもを理解するには愛情はもちろんのこと、相当の体力や忍耐力、包容力を必要とします。学生時代にこのようなボランティア活動を通して、子どもへの基本姿勢を養うことはとても大切であると改めて実感した一日でした。

経営学部

ファッションビジネスの学び

准教授 芳野まい
経営学部では、ファッションビジネスについて集中的に学ぶ環境が整っています。大学、しかも経営学部でファッションについて、いったいどんなふうに関心するか疑問に思われるかもしれません。

大きく分けると、①ファッションそのものについての知識と理解を深めるための授業（ファッション近現代史、ファッション総論、ファッション文化論、ファッションデザイン論、色彩研究など）、②ファッション「ビジネス」を学ぶ授業（ファッション販売実践、アパレル産業論、ファッショントレンドなど）、③実際に服の成り立ちや作り方について学ぶ授業（服飾造形、服飾構成など）の三つの軸があります。

たとえば「ファッション近現代史」の授業では、海外そして日本のファッションの歴史と現在を学びます。「アパレル産業論」では、アパレル産業をデザイン以外の部分で支える要素、財政や人事などについて、歴史を踏まえて、さまざまな角度から分析します。「色彩研究」では、色彩理論の基本を学び、

ファッション業界における色の重要性を理解します。

実技授業のためのプロ仕様のミシンや道具、作業台が整い、専門の先生について、本格的な服作りを学んでいます。

ファッションビジネスに特に関心のある学生が選択する「ファッションゼミナール」では、たとえば「ファッションビジネスにおけるSNS使用の現状と今後」など、ファッションビジネスに関するさまざまなテーマで卒論を準備します。

学園祭では毎年、ファッション論ゼミナールの学生を中心に、学生有志によるファッションショーを開催しています。卒業生は、ミキハウス、きもの やまとなど、専門をいかした就職を実現しています。



本格的な服づくりを学ぶ

短期大学

素直な人間力を育てるために

幼児教育科主任 松本純子
短期大学の学生は、幼稚園や保育所で働く保育者を目指す学生がほとんどです。乳幼児期の教育の重要性が国の施策でもより強く打ち出されるに伴い、保育者として求められる資質・能力も保育の知識や技能にとどまらず、ますます多様になってきています。

こうした要請に応え、素直な人間力と高い技能、そして保育現場に出ても自らも自己研鑽を続けていける魅力ある保育者を養成するために、短期大学では「幼児教育基礎演習」や「課題研究」などの本学独自の科目を開講しています。

「幼児教育基礎演習」は一年生前期に開講し、学長講話を通して本学の建学の精神を学ぶとともに、大学で求められるスタディ・スキルやレポートの作成方法、聴き方・話し方といったコミュニケーション・スキル、学外宿泊研修や芸術鑑賞を通しての体験的学び、友達とのグループワークを通しての共同作業など、保育者としてだけでなく、魅力ある大人として自分磨きをするための基礎を学びます。昨今教育機関に求め

られているアクティブ・ラーニングや学際的な学びへの取り組みが、本学ではすでに十五年以上以前から幼児教育基礎演習や課題研究という科目として継続して実践され、学生の学びの基盤を築いています。

幼稚園教諭免許と保育士資格を二年間で獲得するため、とかく短期大学での学びは窮屈で画一的なものになりがちだと言われます。学生が自分の今できることを発揮しつつ、弱点や不足している点を自覚し、なりたいた自分になるために地道に努力を続け、その成果を確認できるこれらの科目は、一人一人の学生の自信を深め、人として成長を続けていける大きな力を育てるものと確信します。

学生が毎回の学びの成果を記録しながら生き生きと取り組んでいる姿は、幼児教育の現場で見る子どもたちの姿と重なり嬉しきものです。



新入生の学外宿泊研修

応用心理学部

「おにいさん・おねえさん電話相談」プロジェクトがもたらした成果

教授 石田 祥代

1. 電話相談の概要

東京成徳大学と本学千葉キャンパスのある八千代市との協働事業としての「八千代市おにいさん・おねえさん子ども電話相談」は平成29年3月末日に惜しまれながらも無事に幕を閉じました。本事業の歴史は平成14年に遡ります。八千代市では、子どもたちの人権・権利擁護を図るために、市民と協働のネットワークをめぐらし、同年五月に「八千代市子ども人権ネットワーク」を設立し、子どもの人権侵害の最たるものとして



八千代市長から感謝状を受け取る吉田学部長

「児童虐待」を取り上げました。その未然防止の視点から、子ども自身が抱える様々な悩みを相談できる制度について議論するなか、八千代市に立地する本学と協働し推進する事業として平成16年5月に「おにいさん・おねえさん」子ども電話相談を開設したのです。

以来、大学が夏季休業や冬季休業に入っても本学応用心理学部の相談員学生は、月から金曜日の3時半から5時まで（開設当初は3時開始）、子ども相談センター内に設けられた電話相談スペースで待機をし、子ども達（八千代市在住の小学生）の多くの様々な声に耳を傾けてきました。

2. 学内外のスーパービジョン体制

在学中におにいさん・おねえさん子ども電話相談の相談員を務めた卒業生の多くが卒業後に心理分野や福祉分野で活躍しています。卒業生からは、「相談員としての自覚が進路選択に役立った」という言葉や「あの経験が今の仕事に生かされています」といった嬉しい言葉をもらっています。この事業を継続するなかで、先輩後輩でご結婚された方、小学生の時に「電話相談」のポスターを目

にして相談員になりたいと思った方、大学で心理相談としての経験を積みたくて本学に入学してきた方など、色々な学生との出会いもありました。実は、八千代市長から相談員として委嘱される学生は、委嘱する前年度の春に4日もしくは5日間、児童福祉、児童心理、教育、児童保健、相談援助技術と多岐に渡る全16から20の講義を受けることになっていま

す。また、継続研修としてケース会議、今後の事業展開に関するディスカッション、課題解決型ディスカッション等を盛り込んだ全日または数日にわたる夏期研修も行ってきました。学生からの希望で合宿型の研修を行い、夜まで熱く語り合った年もありました。この他、新規相談員が加わった春に歓迎会を開催し学生間交流を行う、毎月学内で茶話会を開催し学生間で事例検討と情報共有を行うなど、年度を追う毎に学生主体の活動も増えてきました。

本事業は一方では学生養成や研究プロジェクトといった役割を担っていました。学生養成に関して前回の茶話会におけるピア・スーパービジョンに加え、学内の教員がスーパーバイザーとなり、相談、調整、助言等を通してスーパーバイ

ジーである相談員学生に寄り添ってきました。研究としては、平成19年度以降、大学内の競争的資金であるプロジェクト研究として多額の研究費を配分していただきました。このような大学からのバックアップがあったからこそ長きにわたり継続することができました。

3. 子ども電話相談事業の意義と成果

13年に渡り、子ども電話相談の相談員として委嘱された学生数は延べ四〇〇名、電話対応件数は二七一一二件、うち相談件数は一四一六件でした。

本事業は大学生が相談員として子ども達の声に耳を傾ける全国で初めての電話相談であり先駆的な意義を有していました。大学生は相談員としての経験のみならず、地方行政について知る機会をもち、本学の理念である共生とコミュニケーションを体感したことでしょう。また、本事業における本学と八千代市との協働を機に、両者間の連携事業が増えたことも成果といえます。

これらの成果は、3冊の研究報告書と東京成徳大学紀要学内プロジェクト研究報告でまとめています。また、同紀要や子どもの権利研



委嘱状を受け取る相談員学生

究に研究論文を発表して来ました。さらに、日本福祉心理学会大会と全国自治体シンポジウムにおいては、本学教員と共に相談員を務める学生が発表する機会を得ることができました。以上のような意義と成果をもたらした電話相談の活動について、八千代市より東京成徳大学に対して感謝状をいただきました。最後になりますが、相談員諸君、研修会で快く講師を引き受けて下さった学内外の諸先生、休日を返上して夏期研修にかけて下さった八千代市役所子ども部の方々、バックアップをしてくださった本学教職員の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

人文学部

今号では数字で見る人文学部をテーマにご報告したいと思います。

まず、資格についての数字です。

昨年度に情報処理関連の資格を取得したのは、日本語ワープロ検定2級1名、3級1名、プレゼンテーション作成検定3級1名（いずれも日本伝統文化学科学生）でした。千葉キャンパス全体では延べ45名でしたので、人文学部の学生たちにはチャレンジ精神を持ってほしいと思います。語学関係の検定取得者は、韓国語能力検定3級3名、4級2名、5級1名、同6級1名で、最高級の6級を獲得した学生が出たことは素晴らしい結果でした。ハン

グル検定は3級2名。中国語検定は、3級1名、新HSK（漢語水平考試）3級4名、同4級3名、5級1名でした。また中国百科検定2級が1名でした。いずれも国際言語文化学科の学生が取得したもので、大変立派な結果だと思えます。教員免許状取得者は国語科が2名、英語科が1名でした。

次に就職率ですが、日本伝統文化学科は学科生全員の進路決定率は81.3%、就職希望者に対する就職



第5福竜丸展示館見学会

決定率は男子88.9%、女子100%でした。国際言語文化学科は、進路決定率が85.7%、就職決定率は男女ともに100%でした。

また、昨年度留学した学生数は、韓国13名、中国1名、台湾1名で、いずれも国際言語文化学科の学生です。

最後に各学科の今年度のトピックスについて。

日本伝統文化学科では2年前から行っている学科統一テーマでの学びを継続しています。今年度は「ゴジラの系譜 日本文化における災害の表象」というテーマです。

6月17日にキックオフ行事として、第五福竜丸展示館見学会を催しました。映画『ゴジラ』第一作が原

水爆を表象するものであることからの企画です。今後、学科全員で取り組む講演会や発表会が予定されています。

国際言語文化学科では、5月25日から28日まで、新1年生36名全員が参加して中国の上海・蘇州への新入生海外研修を行いました。蘇州では世界遺産の庭園などを見学しました。なかでも上海にある華東師範大学外国語学部日本語学科の学生たちとの交流会はメインの行事で、互いの学科の紹介から始まり、学生生活、趣味、食事など様々なことを熱心話し合いました。学生たちは海外の人々との交流に自信を持ち、今後の留学への思いを強くした研修でした。



華東師範大学学生たちとの交流会

中高一貫部

ICT教育への取り組みを加速

デジタル全盛の時代ですが、中高一貫部では「アナログでやっていったことをより上質に」という理念のもと、ICT活用教育を進めています。人が人に物事を伝える行為を、より効率的にわかりやすくできるようにすること。一人一人が、積極的に、意欲的に、自分の考えで、自己表現をし、意思を伝える。そのためには、アクティブラーニング、ICTは有効な手段の一つであると考えています。

本年度より、新生生はiPad Proを1人1台使用していきま



も使え、さらにタッチ操作を超えた高度なペン操作に対応しており、授業中のノートの代わりという可能性も秘めています。授業だけではなく、朝のHRでも毎日の連絡を自分のiPadで確認をし、また、

クラスルームやクラッシュというサービスを通じて、自宅でも連絡事項・配布物の受け取りや課題の提出が可能になります。

ICTの活用はタブレットに限られません。各教室にプロジェクトター、WiFi環境が整備されま

また、この6月20日より学校内で最新のニュースを見ることができるようになりました。全国の中学・高校では初めて「NHKデジタルサイネージ」サービスを導入し、「動画ニュース」「天気予報」「今日は何の日」という番組が職員室前のディスプレイに流れています。これらの取り組みは、生徒だけではなく教師も同時にスキルアップしていく必要があり、まさに学校全体での取り組みとなっております。

高等部

リーダーズキャンフィン奄美大島

高等部の教育目標の一つに「文武両道」があります。それによって人間的な成長を遂げてほしい、勉強も部活動も最高峰を目指し、学校全体が活気ある学習・部活動を展開してくれることへの期待と願いがあります。その達成のためには、集団を引っ張っていく統率力と人間力を兼ね備えたリーダーが必要となり、そのリーダー育成を狙ったプログラムが誕生しました。それが「リーダーズキャンプ」です。

今回のキャンプには各部活動、生徒会のリーダーが参加しました。場所は自然豊かな奄美大島を選定し、1月27～29日の2泊3日で実施されました。

このキャンプで目標にしたことは、①お互いを認め、生かすことのできる力、②互いの関係性を築く力、③相手に受け入れられる力の3つでした。

地元鹿児島県立大島高校との交流会をはじめ、部活や所属は違いますが、東京成徳の仲間同士のコミュニケーションを通じた問題点の共有、染め物体験で応援旗を作

成、そして奄美大島の自然をサイクリングで体感し、広く純粋な自分の心を見つめました。そして真っ青に澄みわたった海に向かって、一人ずつ大声で自分のこれからの目標を宣言しました。

参加生徒たちはたくさんのごことを学んだと思います。今回は初の試みで残念な事故もあり、プログラム全体にまだまだ行き渡らない点がありました。今後、反省改良を加え、より効果的なプログラムにしていきたいと思えます。



深谷中学校

校内宿泊オリエンテーション

4月21日(金)から23日(日)までの2泊3日、中学校1年生を対象とした校内宿泊オリエンテーションが行われました。入学時の生徒の不安はやはり「勉強について行けるかな。」ということと「友達ができるかな。」ということと。早期にこの不安を取り除くことは大切なことです。宿泊オリエンテーションの目的は、まさに早期の学習方法の確立と良好な仲間作りにあるのです。

初日には、東京成徳大学の石崎先生を講師にお迎えしてチームビルディングに取り組みました。ボールや新聞紙を使つてのゲームは、どうしても仲間との協力が必要となりま



す。生徒たちは、楽しみながら良質な人間関係を構築してくれました。また、夕食のカレー作りも手際よく、楽しく協力しながらできました。自分たちで作ったカレーライスの味は格別だったようです。



学習方法の確立については、5教科の先生方からそれぞれ説明を受けました。理科では、校内のタンポポやメタセコイアといった植物やアリ等の昆虫をルーペで観察したり、スケッチしたりすることによって観察の仕方を学びました。生徒たちは机上の勉強だけが勉強でないということを強く感じてくれたようです。

入学して2週間での校内宿泊オリエンテーションは、クラスメイトの絆を深める良いきっかけとなりました。

深谷高校

パワーリフティング部は部員4名全員が、出場標準記録を突破し、5月28日に長野県の白馬で行われた全日本サブジュニア・パワーリフティング選手権大会へ出場しました。2年生の田ヶ谷花恋さんが52kg級1位、3年生の河村拓海君が93kg級2位、3年生の新井凌君が83kg級3位、天野克哉君が66kg級3位に入り、クラブ対抗団体戦でも優勝しました。

また、この大会は8月にアメリカのオーランドで開催される世界サ



52kg 級1位 田ヶ谷 花恋 さん



83kg 級3位 新井 凌君

ブジュニア・パワーリフティング選手権大会への選考会でもあったのですが、2年生の田ヶ谷さん、3年生の河村君、新井君の3名が世界大会に出場することが決まりました。部長の新井凌君は、「フロリダでの世界大会へ出場することは、僕にとって夢でした。高校生活最後の大会になるので、しっかり調整して、悔いのないように頑張ります。一緒に練習して来た2人も同じ目標をもって頑張つて来たので、みんな得上位入賞をねらいます。」と意気込みを語ってくれました。

幼稚園

音楽室ができました

本園では、子どもたちの表現力、実行力などを養うため、本年度より専用の音楽室を開設いたしました。先生は、学園中高の教諭が当り、全学年全クラスごとの指導を行っています。音を聴いたり、声を出したり、楽器を使って手足を動かし、一人ひとりの個性を伸ばす総合的な実践です。



音楽室には、太鼓や笛と一緒になったようなめずらしい民族楽器を導入しました。「ドレミ…」の西洋音階ではない、四分音（1オクターブ24音）を用いた楽器など、今の音楽にとらわれない楽器も体験できるようにしました。これにより、ドレミを理解している時期でも美しく演奏できるわけですね。幼児期に中東やアフリカの独特な体鳴楽

器の音色を聴いてもらうことは、音楽の視野を広げることにもなります。

このような楽器を通じて、「音楽はたのしい！」という気持ちでリズム力、音感を育んでもらいたいと思っています。

子どもたちには、自由に楽器をたたくことで、音の高低を体で感じてもらいます。初めはどんな音がするのか興味津々です。触れてたいてみると今まで聴いた事のない音色で思わず踊り出したくなるようで、体が自然とリズムを取っています。音楽の力で子どもたちの笑顔が一杯です。

いろいろな楽器を使い、一人ひとりが作りだす音を合わせて合奏する喜びとともに、責任感、自信が樂しさに繋がっていきます。

こうした教育は、総合学園なので専門の先生の指導が受けられるからだと思います。保護者の方から、子どもたちの伸びやかな歌声が多くなったと言われ、支持もいただいています。

本園では、さまざまな体験を通して子どもたちの成長エネルギーや豊かな心を育て、バランスよく潜在能力を引き出していくよう、今後も教職員一同、努力して参ります。

平成29年度学園後援会総会開催

6月17日、中高一貫部に於いて恒例の学園後援会総会が開かれました。

学園からは木内秀俊学園長、木内秀樹理事長が出席されました。木内理事長は学園の近況、特に十条台キャンパスに春完成する6号館について言及され、人文学部を移転する方針なども説明されました。

総会は藪崎精克後援会長が議長を務められ、6件の議事について、それぞれ担当役員の説明の後、満場一致で可決され予定の時間に終了しました。

続いて日本伝統文化学科青柳隆志教授が「和歌を歌う〜歌会始と和歌披講」と題して講演。毎年新年に



開催される歌会始の映像を紹介しながら和歌の披講（歌を詠み上げること）について説明され、会員の皆さまも興味深く聞いておられました。昼食後はおひとりずつ近況を語られ会員同士の友好を深められました。

平成29年度役員

名譽会長	木内秀俊
名譽副会長	木内秀樹
会長	藪崎精克
副会長	遠藤洋子
同	小黒好男
同	川北水江
同	染谷一子
同	伊藤邦夫
同	降矢弘
同	星和子
同	菱沼一弘
同	坂田道治
同	保永幸子
同	立石ひとみ
同	石塚京子
同	清和美
同	大野林太郎
同	佐々木富也
同	荒井千恵子
同	藪崎千恵子
同	神崎敬治
同	金澤清一
同	与



全国中学校高等学校女子ラクロス選手権大会に優勝した本校「ブレイブユース」のメンバー

東京成徳大学

- 男子バスケットボール
第 66 回関東大学バスケットボール選手権大会 …… 第 14 位 (99 大学参加の内)
- 女子バスケットボール
千葉県女子学生バスケットボール秋季トーナメント大会 …… 準優勝

東京成徳大学高等学校

- 女子バスケットボール部
 - 全国高等学校総合体育大会東京都大会 …… 優勝
 - 関東高等学校女子バスケットボール大会 …… 優勝
 - 東京都高等学校女子バスケットボール春季大会 …… 優勝
 - 関東高等学校女子バスケットボール新人大会 …… 優勝
 - 東京都高等学校女子バスケットボール新人大会 …… 優勝
- ラクロス部
 - 全国中学校高等学校女子ラクロス選手権大会 …… 優勝
 - 関東女子中高生ラクロスリーグ戦 …… 準優勝
- バトン部
 - 全日本バトントワーリング選手権関東支部大会 …… ペア優勝
 - 全日本バトントワーリング選手権大会 …… ペア出場
 - 東京都高等学校バトン新人戦 …… 優勝
- 陸上部
 - 東京都高等学校陸上競技対抗選手権大会 …… 男子 3000m 障害 2 位
女子 5000m 競歩 1 位
 - 関東高等学校陸上競技大会 南関東大会 …… 女子 5000m 競歩 5 位
- 卓球部
 - 関東高等学校卓球大会 …… 女子シングルス出場

東京成徳大学深谷高等学校

- ダンス部
 - 全国中学校・高等学校ダンスドリル選手権大会 関東大会ノベルティ部門… 1 位
- パワーリフティング部
 - 日本サブジュニア・パワーリフティング選手権大会 …… 男子 93kg 級 2 位 / 男子 83kg 級 3 位
男子 66kg 級 3 位 / 女子 52kg 級 1 位

東京成徳大学中学校

- 女子バスケットボール部
 - 東京都中学校女子バスケットボール春季大会 …… 準優勝
 - 東京都中学校バスケットボール新人大会 …… 3 位

OPEN CAMPUS 2017

お気軽に一度東京成徳のキャンパスへお越しください。
オープンキャンパス、学校説明会、入試日程などはホームページで詳細を。



東京キャンパス 3号館

学校法人 東京成徳学園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp	
東京成徳大学大学院	http://www.tsu.ac.jp/gra	電話 03-5948-5161
心理・教育相談センター	http://www.tsu.ac.jp/center/tabid/210/Default.aspx	電話 03-5948-5162
東京成徳大学	http://www.tsu.ac.jp	
東京キャンパス (十条)		電話 03-3908-4530
千葉キャンパス (八千代)		電話 047-488-7111
東京成徳短期大学	http://www.tsu.ac.jp	電話 03-3908-4530
東京成徳大学中学校・高等学校		
中高一貫部	http://www.tokyoseitoku.jp/js	電話 03-3911-2786
高等部	http://www.tokyoseitoku.jp/hs	電話 03-3911-5196
東京成徳大学深谷中学・高等学校		
中学校	http://www.tsfj.jp	電話 048-573-1784
高等学校	http://www.tsfh.jp	電話 048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind	電話 03-3911-6337
東京成徳スイミングスクール		電話 03-3914-2383